

熱帯低気圧の接近に伴う農作物被害防止対策

令和元（2019）年6月27日
芳賀農業振興事務所

熱帯低気圧に関する情報（令和元年6月27日06時35分 気象庁発表）によると、熱帯低気圧は27日06時には奄美大島の南東約110kmにあって、北北東へ進んでいます。今後台風になる可能性があり、場所によっては大雨となる見込みとなっています。

県内でも、影響が懸念されることから、以下の技術対策により被害防止に努めてください。

I 共通

1 大雨対策

- (1) 大雨による冠水等が心配されるので、事前に排水溝を設けるなど、対策を講じましょう。
- (2) ゴミや刈り払った雑草が水路を塞がないよう、事前に取り除きましょう。

2 防風網・防鳥網・多目的防災網等の点検、補修

- (1) 網が飛ばされたり破られたりしないよう固定状況を点検するとともに、破損部があると強度が低下するので補修しましょう。
- (2) 目が細かい多目的防災網等を展張している場合は、網の外側に支柱等を建て柵線に固定しておきましょう。

3 ハウスの点検、補修、補強

- (1) 被覆資材の破損部や固定が不十分なところがないか点検し、補修しておきましょう。
- (2) 筋交いを設置し、奥行き方向への倒壊を防止しましょう。また、ハウスの肩部を引っ張り資材や、つかえ棒で補強し、変形を防止しましょう。
- (3) 使用していないハウスは、天井や妻面のビニールをはずして風を抜けやすくし、施設の損壊を防ぎましょう。

4 事後対策の準備

- (1) 被害後、速やかに回復措置がとれるよう、排水対策や施設等の修復、病害防除等の準備をしておきましょう。

II 普通作物

1 水稻

- (1) 冠水した場合は、速やかに排水に努めましょう。

2 大豆

- (1) 播種及び出芽直後の場合は、大雨による冠水及び浸水等が心配されるので、排水溝を点検しておきましょう。

Ⅲ 野菜

1 全般

- (1) 強風対策として、ハウスやネットの点検・補修・補強を行きましょう。
- (2) ほ場の冠水及び浸水が懸念される場合は、排水対策を行きましょう。
- (3) 病気が発生しやすくなるので、発生が懸念されるほ場では防除を行きましょう。

2 いちご

- (1) 炭疽病が発生しやすくなるので、排水対策を行い、発生が懸念される場合は防除を行きましょう。なお、育苗期と本ぽで使用できる農薬は異なるので、注意しましょう。

3 なす、きゅうり、トマト等

- (1) 強風による損傷や倒伏を軽減するため、茎や枝を支柱やネット、誘引線によく固定しておきましょう。

Ⅳ 果樹

1 なし・ぶどう等（棚仕立て果樹）

- (1) 強風による枝や果実の損傷を軽減するため、結果枝等を棚によく固定しましょう。

2 りんご等（立木仕立て果樹）

- (1) 強風による枝や果実の損傷を軽減するため、側枝等太枝に支柱を設置したり、結果枝どうしを結束するなどして、固定しましょう。

3 苗木

- (1) 強風による倒伏を軽減するため、支柱に固定しましょう。育苗中の「大苗」は倒伏しやすいので、特に注意しましょう。

Ⅴ 花き

1 露地ぎく

- (1) 支柱やネットのゆるみを直し、十分に補強しましょう。ネット上げの作業が遅れている場合は、所定の位置までネットを上げておきましょう。

Ⅵ 特用作物

1 こんにゃく

- (1) 大雨による冠水及び浸水等が心配されるので、排水溝等を点検しておきましょう。

Ⅶ 畜産

1 畜舎

- (1) カーテン等の固定状況を点検し、補修、補強しておきましょう。
- (2) 雨水の流入が心配される場合は、土のう等により対策を講じておきましょう。
- (3) 車両や飼料、機器を、水没しない場所へ移動しておきましょう。
- (4) 浸水する可能性のある電気設備は、防水対策を講じておきましょう。

2 飼料用とうもろこし

- (1) 畑の排水路を確保しましょう。

(2) 絹糸抽出期前後で被災した場合、折損していないもの、軽微な倒伏は回復の可能性があるので、回復状態を良く確認し適期収穫に努める。

3 停電による搾乳不能に備えて

(1) 発電機の準備と燃料を確認しておきましょう。

(2) 停電時に搾乳する場合は高泌乳の牛から行いましょう。また、濃厚飼料の給与は控えましょう。

(注意)

※ 農薬の使用に当たっては、使用基準（適用作物、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を厳守しましょう。特に、同一成分の使用回数にも注意しましょう。

※ 農薬散布に当たっては、飛散防止に十分注意しましょう。